

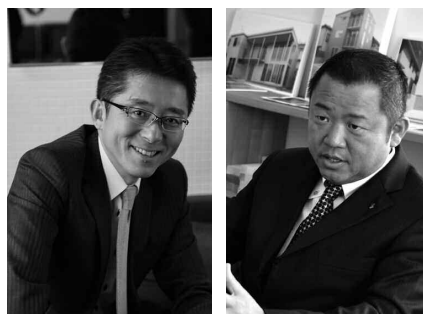
注目企業 (株)エスクリ

会場づくりに変革をもたらす!! 100年の歴史を持つ 婚礼特化型建築企業、(株)渋谷の誕生

会場デザイン・仕入・建築・内装・施工のワンストップサービスの提供開始

(株)エスクリ 代表取締役社長 岩本 博氏 同社取締役 専務執行役員 店舗開発本部管掌 兼 店舗開発本部長 しぶたに もりひろ 渋谷 守浩氏

結婚式場の運営において、会場(ハード)は重要なファクターの一つであることは言うまでもない。しかし、今日においてリニューアルをするだけの費用を捻出することは容易ではなく、またリニューアルをしてもあまり効果が見られなかった、という話も少なくない。そんな中、起業100年の歴史を持つ建築会社を完全子会社化した企業がある。それが岩本博社長率いる株式会社エスクリだ。その経緯や狙いをまとめてみた。



「建築・内装事業」として位置づけ

2013年5月、エスクリ(東京都港区、岩本博社長)は建築・内装にかかわるすべてを一貫して手掛けている渋谷(SHIBUTANI、奈良県桜井市、渋谷守博社長)を完全子会社化した。

建築部門の内製化によって、新店、リニューアル、修繕時の圧倒的なコスト削減と新たな事業を展開していく。渋谷を「建築・内装事業」と位置づけ、会場デザイン、建築・内装工事の請負・設計監理、木材・インテリア等の仕入に至るまでを展開していく。

渋谷の強みは一重に『総合力』の言葉に尽きる。こと仕入力に関しては大手ゼネコンより良質で多種にわたる木材やマテリアルを、かつ安価に仕入れることが可能だ。さらに建築から内装までを手掛けることができるため、コミュニケーションロスなく、スピーディーに施工を推進できる。当時エスクリがパートナーとしても厚く信頼を置いていたことも頷ける。

岩本社長の熱い思いに子会社化を決断

「子会社化に合意したのは、第一に岩本社長の熱意」と渋谷守浩氏は言う。

企業として昭和25年創業の歴史を持つことから、東証一部上場企業と言えども、平成15年に創業した企業との歴史的な差異から反対する声もあった。しかしながら、“一緒になろう!”と言う岩本社長の熱いプロポーズで最終決断に達した。

「M&Aとはまさしく結婚のようなもので、お互いにとってプラスになるかどうかはもちろん、信頼に置けるかどうか、そして何より志を共有できるかがとても大切。その点でエスクリと渋谷はぴったりだった」と渋谷氏は語る。

「ともかく今は、エスクリという企業の発展のために、全力を尽くし売上を上げることが第一です。そのためには、エスクリの新規物件にかかわる建築事業など土台をしっかりと支えながら、式場様・ホテル様からのご依頼にも応え、ご依頼者の悩みや課題、問題点を解決できる改装のご提案など、これまでの経験やノウハウ、流通など、渋谷が築きあげてきた総合力を最大限に生かして取り組んでいきます」(渋谷氏)

コンサルティングとのコラボも視野に

また今まで培ってきたノウハウや仕組みを基にしたエスクリ流婚礼事業者支援を本格稼働する中、改装や建築なども連動させた厚みのある事業展開を目指す。

「どの事業においてもそうですが、何より土台がしっかりしているかどうか大切です。

プライダルにとって会場とは土台であり、顔でもある。しっかりと土台でありながら魅力ある顔を創るためにエスクリと渋谷の全てを投入して、悩みを抱えていらっしゃる式場様・ホテル様のお手伝いをしたい」(渋谷氏)。

あるウエディング企業経営者が「ブランドや歴史は買えない」と言っていた。しかし、今ここに創業10年の勢いのある急成長企業と歴史ある100年企業の最強タッグが誕生した。ウエディングにおいて衣裳や・美容・花や写真の内製化は盛んに行なわれているが、一番費用を投じる建築・施工の内製化は初の試みでもある。ますます今後のエスクリ×渋谷の動きに目が離せない。